

大村市の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします

小・中学校では、全国学力・学習状況調査などの結果を最大限に活用し、子どもたちの学力の定着・向上に努めています。本年度の全国調査の結果をお知らせします。

○教科に関する調査

	調査問題	平均正答率(%)	
		本市	全国
小学校	国語A	69.8	70.0
	国語B	62.8	65.4
	算数A	72.5	75.2
	算数B	41.5	45.0
中学校	理科	58.9	60.8
	国語A	74.1	75.8
	国語B	63.5	65.8
	数学A	61.9	64.4
	数学B	38.9	41.6
	理科	51.1	53.0

Q: 国語Aや算数Bとありますが、AやBとは何ですか?
 A: 主に、A問題は「知識」に関する問題、B問題は「活用」に関する問題です。理科は両方が含まれています。

Q: 大村市の子どもたちにはどんな課題がありますか?
 A: 今年度はすべての問題で全国平均を下回りました。特に、B問題に課題があり、その中でも、「問題を読み取る力」「自分の考えを書く力」「言葉や記号を使って説明する力」に課題が見受けられました。

本市の子どもたちはこんな問題が苦手です

小学校算数B 大村市の平均正答率10.1%

せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましょう。



◆B問題は、学校の様子を新聞にまとめる問題(国語)や、ゼリーを分解する実験の問題(理科)など、生活に関連付けた問題が多い。

◆割合の問題は、大村市だけでなく、長崎県や全国でも課題となっています。(全国平均正答率13.1%)

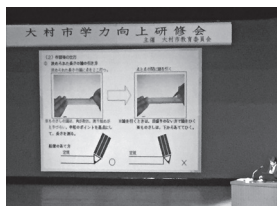
☆生活の中で、「○割引」や「○%オフ」などの言葉をよく見かけます。「いくらになるかな?」などと一緒に考えていただくと、学校で学んだ内容が更に定着します。

◆学力向上研修会を実施しました

これらの課題を受けて、8月20日に市民会館で、市内小・中学校の教師を対象に、学力向上研修会を実施しました。本市では今後も、わかる授業、学力が定着・向上する取り組みを推進していきます。

【内容】

- ◆市内小・中学校の優れた実践の紹介
- ◆前年度研究発表
- ◆校・中央小学校の実践成果の共有
- ◆授業でのICT活用



質問紙調査(一部抜粋)から見る大村の子どもたちの状況



質問項目	平成27年度(%)			
	小学6年生		中学3年生	
	本市	全国	本市	全国
1 毎日朝食を食べている	96.0	95.6	94.4	93.5
2 毎日同じくらいの時刻に寝ている	80.2	79.5	77.1	75.2
3 毎日同じくらいの時刻に起きている	92.9	91.0	93.2	92.1
4 授業以外に1時間以上学習している(月~金)	60.5	62.7	73.5	69.0
5 学校以外で30分以上読書をしている(月~金)	33.8	37.7	31.1	30.6
6 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしている	53.9	58.0	71.1	78.6
7 テレビゲームを2時間以上使用する(月~金)	22.4	30.2	30.1	36.3
8 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う	95.7	93.9	96.6	94.9
9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	96.8	96.2	96.3	93.7
10 今住んでいる地域の行事に参加している	48.0	66.9	25.3	44.8
11 国語の解答を文章で書く問題に、最後まで答える努力をした	77.2	77.7	74.8	76.4
12 算数・数学の解答を言葉や式を使って書く問題に、最後まで答える努力をした	71.5	73.3	49.9	51.3
13 理科の解答を文章などで書く問題に、最後まで答える努力をした	75.0	76.1	48.6	51.8

生活面では

- 朝食や睡眠は全国と比べて良い傾向にあります。
- 携帯・スマホ、ゲームの使用率は全国と比べて低いですが、昨年よりは増加しています。

学習面では

- 中学生の家庭学習率が全国に比べて高いです。
- △問題に粘り強く取り組むのが少し苦手です。
- △家庭で読書する時間がとても少ないです。

心の面では

- 優しくて規範意識がしっかり育まれています。
- △地域の行事に参加する子どもがとても少ないです。

基本的な生活習慣や学習習慣は、学力面に大きく影響します。

各家庭でも家庭教育の役割を再度確認し、学校と協力してお子さんの学力の伸長・よりよい生活習慣の確立に向けた取り組みをお願いします。

■学校教育課(内線370)